

# 2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月13日



小田急電鉄株式会社

※ 2024年度よりセグメント表示を変更したため、前期実績を組み替えて表示しています。  
 (旧セグメントの流通業・その他の事業を生活サービス業に統合)  
 詳細は当社HPの「FAQ」に記載しています。

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減
営業収益	293,633	312,470	+18,837 (+6.4%)
交通業	129,367	131,560	+2,192
不動産業	55,522	63,172	+7,650
生活サービス業	119,580	129,137	+9,556
調整額	△10,837	△11,400	△562
営業利益	40,423	44,675	+4,251 (+10.5%)
交通業	23,868	25,278	+1,409
不動産業	11,296	11,741	+445
生活サービス業	5,224	7,639	+2,414
調整額	34	16	△17
経常利益	40,578	45,032	+4,454 (+11.0%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,110	43,486	+12,375 (+39.8%)

# 営業外・特別損益、連結貸借対照表

## <営業外・特別損益>

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減・主な要因
営業外収益	5,188	5,049	△138
営業外費用	5,034	4,691	△342
特別利益	11,431	18,030	+6,598 関係会社株式売却益 17,179 (+16,205) 固定資産売却益 365 (△9,749)
特別損失	7,733	1,694	△6,039 固定資産除却損 1,341 (△620) 減損損失 3 (△5,601)

<連結貸借対照表※> ※ 2024年度より「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（改正企業会計基準第27号）等を適用したため、前期末実績を修正しています。

単位：百万円	2023年度	2024年度 第3四半期	増減・主な要因
流動資産	173,118	166,047	△7,071
固定資産	1,128,460	1,141,687	+13,227
資産合計	1,301,578	1,307,734	+6,156 現金及び預金 △12,838 分譲土地建物 +12,055 建設仮勘定 +12,620
流動負債	396,422	349,577	△46,844
固定負債	444,979	485,453	+40,473
負債合計	841,402	835,030	△6,371 未払法人税等 △21,029 未払金 △42,897 有利子負債 +46,593
純資産合計	460,176	472,704	+12,527 利益剰余金 +32,412 自己株式 △20,352
負債純資産合計	1,301,578	1,307,734	+6,156

※ 2024/4/1付の小田急箱根グループにおける組織再編に伴い、一部の事業を生活サービス業へ移管しました。詳細は当社HPの「FAQ」に記載しています。

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	129,367	131,560	+2,192 (+1.7%)	
鉄道業	96,256	97,494	+1,237	(+)輸送人員増 (△)小田急箱根グループ再編※
バス業	26,072	27,633	+1,561	(+)運賃改定
その他	7,039	6,433	△606	(△)小田急箱根グループ再編※
営業利益	23,868	25,278	+1,409 (+5.9%)	
鉄道業	20,392	20,671	+279	
バス業	1,699	2,743	+1,044	
その他	1,776	1,862	+85	

## <フリーパス売上枚数 (対前期) >

箱根フリーパス	+6.5%
江の島・鎌倉フリーパス	△10.9%

## <小田急旅行センター利用者数>

単位：千人	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減
乗車券等の購入者	273	309	+36

## <箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減
箱根エリア※	18,430	20,587	+2,157

※ 交通業の他に生活サービス業も一部含まれています。

(参考) 箱根交通各社合計輸送人員 対前期 +3.8%

## <鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

### ■ 輸送人員

単位：千人	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減	
定期	305,836	311,508	+ 5,672	(+1.9%)
通勤定期	211,929	216,015	+ 4,086	(+1.9%)
通学定期	93,907	95,493	+ 1,586	(+1.7%)
定期外	215,373	221,552	+ 6,179	(+2.9%)
合計	521,209	533,060	+ 11,851	(+2.3%)

### ■ 運輸収入

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減	
定期	31,533	32,308	+ 775	(+2.5%)
通勤定期	26,698	27,416	+ 717	(+2.7%)
通学定期	4,834	4,892	+ 57	(+1.2%)
定期外	53,579	54,786	+ 1,207	(+2.3%)
旅客運輸収入計	85,113	87,095	+ 1,982	(+2.3%)
運輸雑収	2,263	2,328	+ 64	(+2.9%)
運輸収入合計	87,376	89,424	+ 2,047	(+2.3%)

### ■ 営業費

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減	
営業費合計	68,502	69,408	+ 905	
人件費	19,177	19,200	+ 23	
修繕費	4,166	5,045	+ 879	
動力費	4,670	5,115	+ 444	
固定資産除却費	467	499	+ 32	
減価償却費	17,630	17,027	△ 603	
その他	22,390	22,520	+ 129	

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	55,522	63,172	+7,650 (+13.8%)	
不動産分譲業	14,349	19,973	+5,623	(+)計上戸数・投資用不動産の売却件数増
不動産賃貸業	32,175	33,598	+1,423	(+)商業施設賃料収入増 (+)オフィス稼働率上昇
その他	8,997	9,601	+603	
営業利益	11,296	11,741	+445 (+3.9%)	
不動産分譲業	△35	1,572	+1,607	
不動産賃貸業	11,093	9,960	△1,133	(△)水道光熱費増
その他	238	209	△28	

## <不動産分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減
戸建	24	10	△14
マンション	57	82	+25
土地	4	37	+33
合計	85	129	+44

## <不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却件数>

単位：件	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減
投資用不動産	1	2	+1

# セグメント情報（生活サービス業）

※ 2024年度よりグループ通算制度を適用したため、小田急百貨店および小田急商事の決算期を2月から3月に変更しています。これに伴い、2024年度第3四半期は10カ月間（2024/3～2024/12）を連結しています。

単位：百万円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	119,580	129,137	+9,556 (+8.0%)	
百貨店業	17,653	21,579	+3,925	(+)小田急百貨店 決算期変更 (+31億円) ※
ストア・小売業	46,507	54,544	+8,037	(+)小田急商事 決算期変更 (+53億円) ※
ホテル業	18,824	13,825	△4,999	(△)前第1四半期末ホテル小田急連結除外 (△)当第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外
レストラン飲食業	11,265	12,933	+1,668	(+)ジロープランニングサービス吸収合併
その他	25,329	26,254	+924	(+)小田急箱根グループ再編（箱根プレゼントサービス新規連結等）
営業利益	5,224	7,639	+2,414 (+46.2%)	
百貨店業	△46	1,503	+1,550	
ストア・小売業	1,427	1,683	+256	
ホテル業	2,079	2,458	+378	(+)客室単価上昇
レストラン飲食業	211	239	+27	
その他	1,552	1,753	+201	

<ストア・小売業：小田急商事 ストア部門取扱高（対前期）>

全店	+5.4%
既存店	+5.2%

※ 3月～12月の10カ月間で比較しています。

<ホテル業：客室稼働率> ※（ ）内は外国人宿泊者比率

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	88.6% (82.5%)	89.9% (88.3%)	+1.3p (+5.8p)
山のホテル	73.9%	74.9%	+1.0p
箱根ハイランドホテル	67.8%	66.2%	△1.6p
はつはな	59.9%	67.5%	+7.6p

単位：百万円	2023年度	2024年度	増減	11月時点見込	増減
営業収益	409,837	424,000	+14,162 (+3.5%)	424,000	- (-)
交通業	171,730	175,000	+3,269	174,600	+400
不動産業	92,027	97,400	+5,372	99,200	△1,800
生活サービス業	161,505	167,600	+6,094	167,100	+500
調整額	△15,425	△16,000	△574	△16,900	+900
営業利益	50,766	51,000	+233 (+0.5%)	48,000	+3,000 (+6.3%)
交通業	25,913	26,300	+386	25,100	+1,200
不動産業	17,759	15,800	△1,959	14,900	+900
生活サービス業	7,058	8,900	+1,841	8,000	+900
調整額	36	0	△36	0	-
経常利益	50,670	50,000	△670 (△1.3%)	46,700	+3,300 (+7.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	81,524	44,000	△37,524 (△46.0%)	42,400	+1,600 (+3.8%)
設備投資額	83,402	67,000	△16,402	74,200	△7,200
減価償却費	45,785	44,500	△1,285	44,500	-
有利子負債残高	626,950	667,100	+40,149	667,100	-
有利子負債／EBITDA倍率	6.5倍	7.0倍	+0.5p	7.2倍	△0.2p
ROE※	20.3%	10.1%	△10.2p	9.7%	+0.4p

※ 親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本（有価証券評価差額除く）

# セグメント別業績予想 (交通業)

単位：百万円	2023年度	2024年度	増減・主な要因		11月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	171,730	175,000	+3,269 (+1.9%)		174,600	+400 (+0.2%)	
鉄道業	127,709	129,200	+1,490	(+)輸送人員増 (△)小田急箱根グループ再編	129,600	△400	(△)輸送人員減
バス業	34,538	36,300	+1,761	(+)運賃改定	36,100	+200	
その他	9,482	9,500	+17		8,900	+600	
営業利益	25,913	26,300	+386 (+1.5%)		25,100	+1,200 (+4.8%)	
鉄道業	22,269	21,500	△769	(△)設備更新費増	20,400	+1,100	(+)設備更新費減
バス業	1,758	2,500	+741		2,500	-	
その他	1,885	2,300	+414		2,200	+100	
設備投資額	26,946	41,600	+14,653		41,600	-	
減価償却費	30,507	30,100	△407		30,000	+100	

## <箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2023年度	2024年度	増減
箱根エリア※	24,192	27,039	+2,846

※ 交通業の他に生活サービス業も一部含まれています。

# セグメント別業績予想（交通業）

## <鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

### ■ 輸送人員

単位：千人	2023年度	2024年度	増減	
定期	396,693	403,446	+6,753	(+1.7%)
通勤定期	281,953	286,599	+4,646	(+1.6%)
通学定期	114,740	116,847	+2,107	(+1.8%)
定期外	287,017	293,688	+6,671	(+2.3%)
合計	683,710	697,134	+13,424	(+2.0%)

### ■ 運輸収入

単位：百万円	2023年度	2024年度	増減	
定期	41,488	42,361	+872	(+2.1%)
通勤定期	35,611	36,400	+788	(+2.2%)
通学定期	5,876	5,960	+83	(+1.4%)
定期外	71,426	72,870	+1,443	(+2.0%)
旅客運輸収入計	112,915	115,231	+2,315	(+2.1%)
運輸雑収	3,086	3,132	+45	(+1.5%)
運輸収入合計	116,002	118,364	+2,361	(+2.0%)

### ■ 営業費

単位：百万円	2023年度	2024年度	増減	
営業費合計	95,087	97,387	+2,300	
人件費	26,254	26,147	△106	
修繕費	7,626	8,849	+1,222	
動力費	6,066	6,798	+732	
固定資産除却費	1,232	1,852	+620	
減価償却費	23,610	23,075	△534	
その他	30,297	30,663	+366	

# セグメント別業績予想（不動産業）

単位：百万円	2023年度	2024年度	増減・主な要因		11月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	92,027	97,400	+5,372 (+5.8%)		99,200	△1,800 (△1.8%)	
不動産分譲業	35,305	38,600	+3,294	(+)都心リノベーション物件の販売増 (+)マンション販売価格上昇	41,300	△2,700	(△)計上予定戸数減 (+)投資用不動産の売却価格上昇
不動産賃貸業	43,391	44,900	+1,508	(+)商業施設賃料収入増 (+)オフィス稼働率上昇	44,700	+200	
その他	13,329	13,900	+570		13,200	+700	
営業利益	17,759	15,800	△1,959 (△11.0%)		14,900	+900 (+6.0%)	
不動産分譲業	4,228	2,600	△1,628	(△)前期自社用地開発物件増の反動 (△)販促費増	2,400	+200	(+)販促費減
不動産賃貸業	12,856	12,600	△256	(△)水道光熱費増	12,100	+500	
その他	673	600	△73		400	+200	
設備投資額	49,130	20,400	△28,730		24,200	△3,800	
減価償却費	9,446	10,000	+553		10,000	-	

<不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却予定件数>

単位：戸・区画	2023年度	2024年度	増減
戸建	25	24	△1
マンション	216	168	△48
土地	10	39	+29
合計	251	231	△20

単位：件	2023年度	2024年度	増減
投資用不動産	4	3	△1

# セグメント別業績予想 (生活サービス業)

※ 2024年度よりグループ通算制度を適用したため、小田急百貨店および小田急商事の決算期を2月から3月に変更しています。これに伴い、2024年度は13カ月間(2024/3~2025/3)を連結しています。



単位：百万円	2023年度	2024年度	増減・主な要因		11月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	161,505	167,600	+6,094 (+3.8%)		167,100	+500 (+0.3%)	
百貨店業	24,061	26,800	+2,738	(+)小田急百貨店 決算期変更 (+31億円) ※	26,700	+100	
ストア・小売業	62,437	70,300	+7,862	(+)小田急商事 決算期変更 (+53億円) ※	70,200	+100	
ホテル業	25,146	17,200	△7,946	(△)当第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外 (2024/4/1 外部譲渡)	17,100	+100	
レストラン飲食業	15,058	17,100	+2,041	(+)ジロープランニングサービス吸収合併	17,200	△100	
その他	34,801	36,200	+1,398	(+)小田急箱根グループ再編 (新規連結等) (△)当第1四半期末UDS (企画設計等) 連結除外	35,900	+300	
営業利益	7,058	8,900	+1,841 (+26.1%)		8,000	+900 (+11.3%)	
百貨店業	41	1,700	+1,658		1,700	-	
ストア・小売業	1,848	2,000	+151		2,000	-	
ホテル業	3,040	2,800	△240		2,800	-	
レストラン飲食業	129	300	+170		300	-	
その他	1,998	2,100	+101		1,200	+900	(+)新規事業関連費用減
設備投資額	7,325	5,000	△2,325		8,400	△3,400	
減価償却費	5,887	4,400	△1,487		4,500	△100	

## ■ ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

## ■ 注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは公表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

# 小田急電鉄株式会社